

第3回 北見圏域多職種ネットワーク研修会のご案内

その“迷い”、個人の問題にいませんか。

— 入退院・急変・看取り 現場の判断を、地域で支える —

参加無料

在宅医療の現場では、入退院、急変時、看取りといった重要な場面で、「どう判断すべきか」という迷いが繰り返し生じています。こうした迷いは、個々の経験や力量の問題として扱われがちですが、その背景には、情報共有の不足や意思決定支援の不十分さ、多職種連携の分断といった構造的課題があります。

本講演では、ACP や不搬送ルール、多職種連携の実践を手がかりに、「迷いを個人に抱えさせない地域」をどう実現するかを考えます。“迷わない地域”は、制度や技術だけではなく、日々の実践の積み重ねによって育まれる「医療・介護の文化」です。あわせて、令和8年度の北見在宅圏域多職種連携・ケアネットワークの活動テーマと参加メンバーの募集を行います。“会議ではなく、動くネットワークへ”地域の実践に関わる一歩として、ぜひご参加ください。

内容

日時：令和8年5月26日(火)18:30~20:00

場所：オホーツク JA Bldg. (北見市とん田東町 617 番地)

対象：北見在宅医療圏 (北見市、美幌町、津別町、訓子府町、置戸町) の医療・介護、行政、その他関係者

方法：会場とオンライン参加併用

内容：報告：北見在宅圏域多職種連携・ケアネットワーク 令和8年度事業計画と活動メンバーの募集

北見在宅医療圏連携拠点センター 関 建久

講演：地域の医療・介護文化をつくる

-入退院、急変、看取り、その迷いをどう支えるか-

講師：北見在宅圏域多職種連携・ケアネットワーク 代表幹事 菊地 憲孝先生

オホーツク勤医協北見病院 院長

主催：北見在宅医療圏連携拠点センター、北見市医療・介護連携支援センター

申し込み：以下の QR コードを読み取るか、クリックしてお申込みください。

(締め切り令和8年5月20日まで) <https://forms.gle/QWrEiCwbSptA3XNcA>



ワーキングチームメンバーを募集します (情報収集・様子見の参加も歓迎です)

チーム名	取り組み予定
入退院時情報共有ルール整備ワーキングチーム	入退院のたびに生じる「情報の分断」をなくすため、北見圏域で共通して使える情報共有ルールの整備に取り組みます。
地域でつなぐ ACP 推進ワーキングチーム	“あの時間聞いておけばよかった”をなくしたい。ACP(人生会議)を「一度きりの話し合い」でなく、地域で継続的に支える仕組みへ。
救急搬送適正化・不搬送ルール検討ワーキングチーム	救急・在宅医療・介護が共通認識を持ち、迷わない判断を支える地域ルールの構築に取り組みます。
看取りの質(QoD)調査・地域還元ワーキングチーム	“これでよかった”と思える看取りを増やしたい。看取りの実態を見える化し、その学びを地域に還元します。

お問い合わせ：北見在宅医療圏連携拠点センター (北星記念病院内) 電話 0157-51-1244